

カナエール経験者 アンケート結果

2019年5月15日

◆対象者・回答数

①カナエルンジャー

- ・配信: 68名 (実配信86名だが、18名はメール未達)
- ・回答: 21名 (回答率 31%)

②カナエルンジャーの出身施設職員

- ・配信: 56施設
- ・回答: 20名分

※回答者は匿名で、個人情報回収せず

※カナエルンジャーが複数名いた施設は、人数分の回答を依頼

◆調査期間

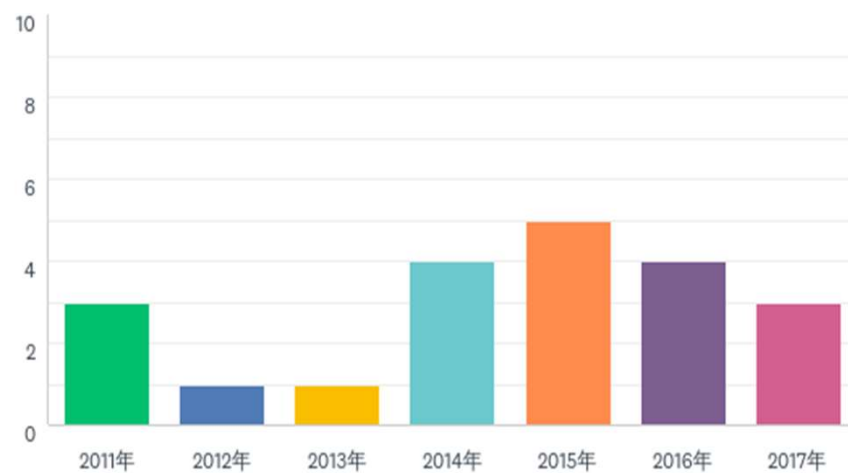
2019年5月10日(金)～14日(火)

◆調査手法

インターネット調査

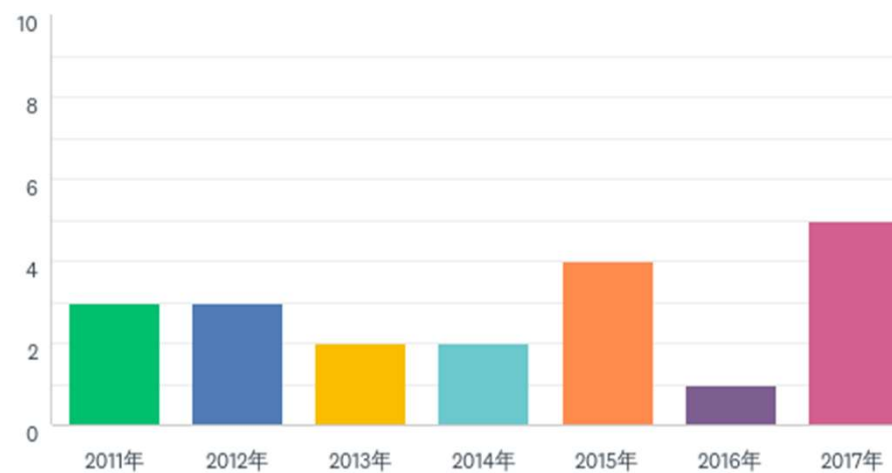
Q1: カナエール参加年度を選択してください

Answered: 21 Skipped: 0



カナエルンジャー

Answered: 20 Skipped: 0

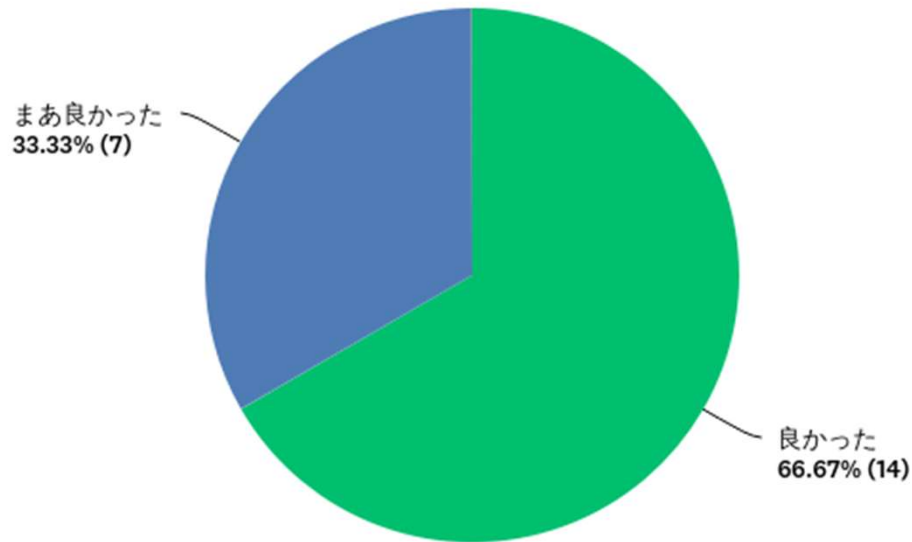


担当職員

Q2: カナエールでの体験はいかがでしたか / お子さんにとって～いかがでしたか？

Answered: 21 Skipped: 0

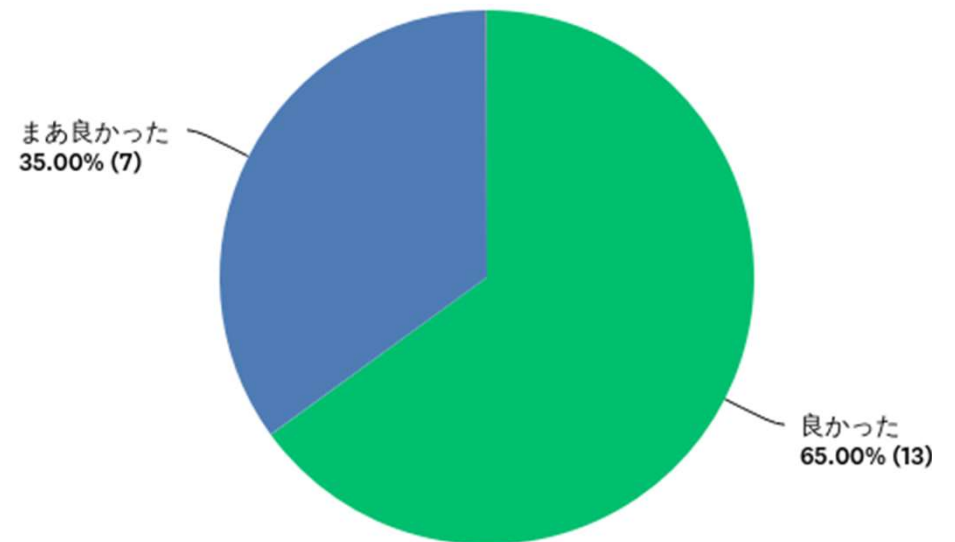
ANSWER CHOICES	RESPONSES
良かった	66.67% 14
まあ良かった	33.33% 7
あまり良くなかった	0.00% 0
良くなかった	0.00% 0
TOTAL	21



カナエルンジャー

Answered: 20 Skipped: 0

ANSWER CHOICES	RESPONSES
良かった	65.00% 13
まあ良かった	35.00% 7
あまり良くなかった	0.00% 0
良くなかった	0.00% 0
TOTAL	20



担当職員

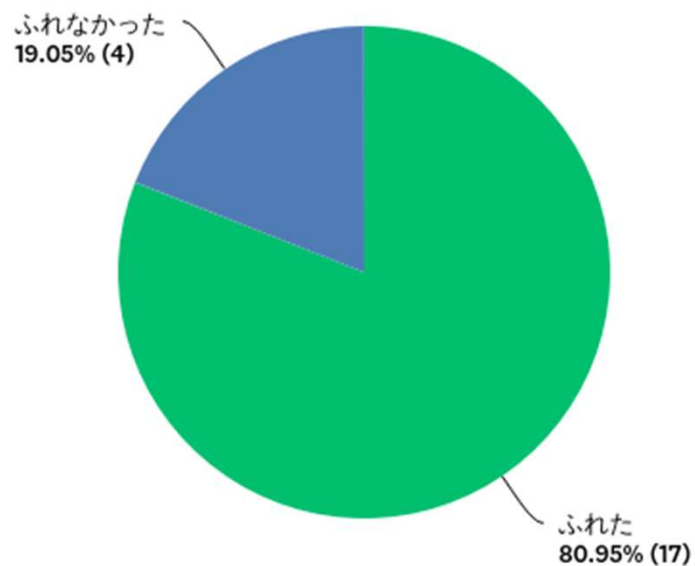
Q3: あなたはスピーチの中で自分の生い立ちについてふれましたか/ お子さんは～

Answered: 21 Skipped: 0

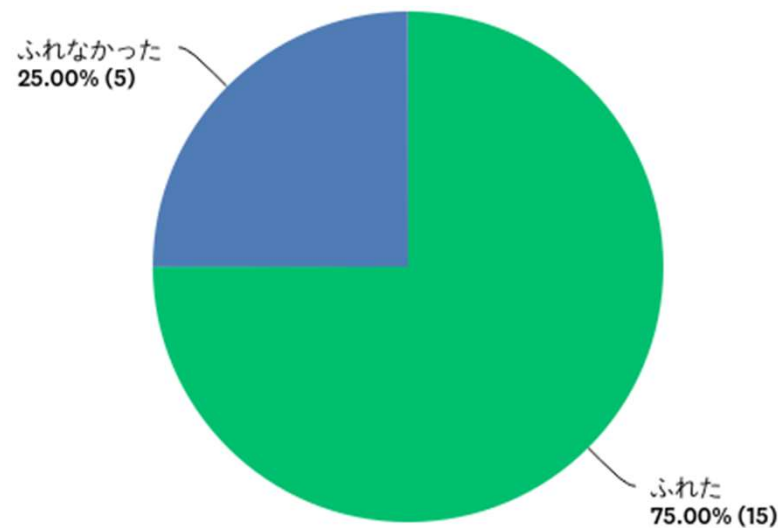
ANSWER CHOICES	RESPONSES
ふれた	80.95% 17
ふれなかった	19.05% 4
TOTAL	21

Answered: 20 Skipped: 0

ANSWER CHOICES	RESPONSES
ふれた	75.00% 15
ふれなかった	25.00% 5
TOTAL	20



カナエルンジャー

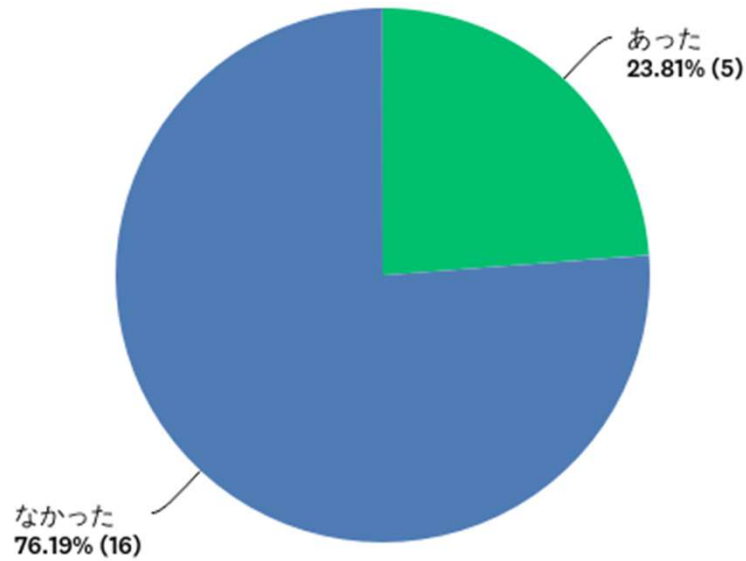


担当職員

Q4: スピーチをする中で、参加前に想定していなかった嫌な思いや後悔はありましたか/ お子さんにとって~あったと思いますか

Answered: 21 Skipped: 0

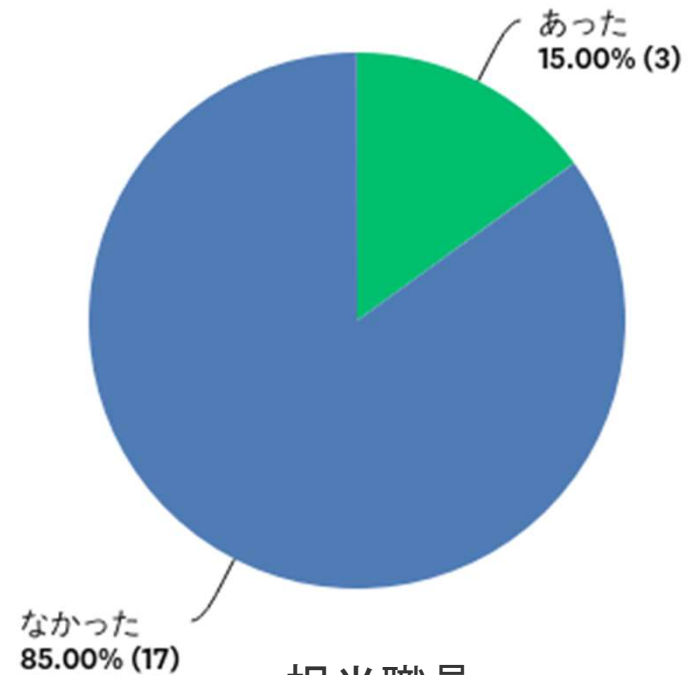
ANSWER CHOICES	RESPONSES
あった	23.81% 5
なかった	76.19% 16
TOTAL	21



カナエルンジャー

Answered: 20 Skipped: 0

ANSWER CHOICES	RESPONSES
あった	15.00% 3
なかった	85.00% 17
TOTAL	20



担当職員

Q5: それ(嫌な思いや後悔)は具体的にどのようなことでしたか？

◆カナエルンジャー

- ・エンパワの方との相性が悪かった

- ・人間関係を築く大変さ。頭の中を整理すること。グループ内での意見の食い違い。

- ・聞きに来てくれた人に伝えたいメッセージはあったし、そこから拡散されることに意味があるので、生い立ちを話すのは理解できるし、したいと思っていました。しかしエンターテインメントのように観客ウケのために、生い立ちを話すことを求められたのはとても不愉快になった。目的と手段がズレています。最優秀 優秀 とそれぞれ選出されるシステムで、最優秀に僅差で1歩届かず(別に優秀者は選ばれ)なんの賞も貰えない事に不快感もあれば、スピーチで生い立ちを話してまで最優秀を取りに行ったことに今でも後悔があります。別にそれだけが目的じゃないにしろ、結果が伴わないので悶々とします。エンターテインメントを求められたとも書きましたが、それを飲んでこちらは賞を取りに行こうと思った訳です。悔しくて不快で納得も行かず最悪な気分でした。

- ・カナエールで発表した夢は本当にやりたい夢ではなかった。スピーチを応援してもらうために、矛盾を生まないために無理やり「進学先の話」をいれた。伝えてはいたが、カナエールで真剣に向き合ってくれるサポーターさんと運営者の想いを叶えたい気持ちもあり、夢が違っていても参加しようと思った(※プライバシーの観点から一部編集しました。)

◆施設職員

- ・知らない人に施設で育った子と思われるのが嫌だと話していた。

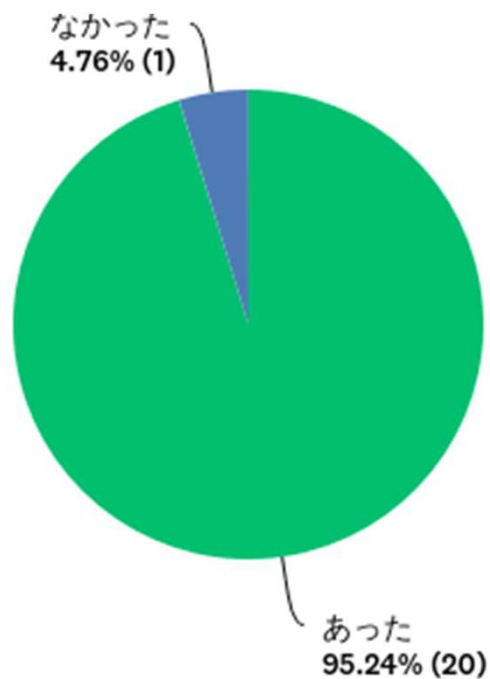
- ・アピールをしなければならぬという点で本心ではないことを訴えるということがあったように思います

- ・進みたいという強い願いをもってカナエールに挑みましたが、入所前の傷ついた心を閉じ込めて過ごした期間がそれぞれにあって、その痛みを言葉にすることは当時から再体現するようなことであつたと思います。

Q4: スピーチをする中で、あなたにとって良かったことはありましたか/ おこさんにとって～あったと思いますか

Answered: 21 Skipped: 0

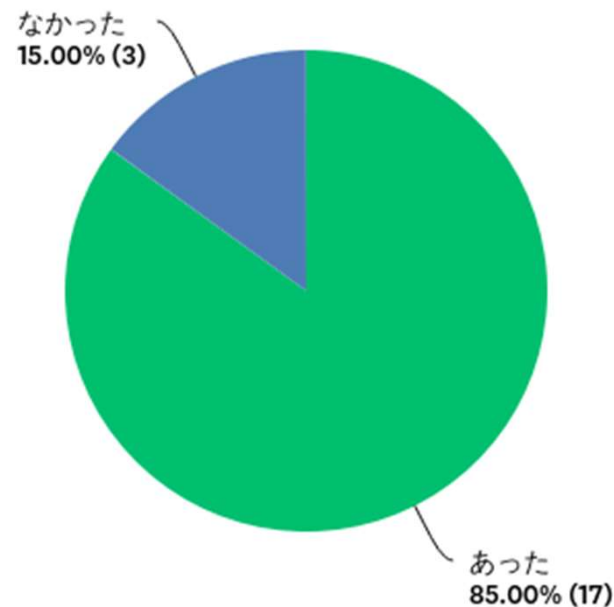
ANSWER CHOICES	RESPONSES
あった	95.24% 20
なかった	4.76% 1
TOTAL	21



カナエルンジャー

Answered: 20 Skipped: 0

ANSWER CHOICES	RESPONSES
あった	85.00% 17
なかつた	15.00% 3
TOTAL	20



担当職員

Q5: それ(よかったこと)は具体的にどのようなことでしたか？(カナエルンジャー)

- ・過去の自分と整理がついた
- ・自分の経歴を洗い出して弱点を見つけ出す事ができ、また、その弱点も含めて自分を支援してくださる方々にお会いする事ができたことです。
- ・その夢に向かう覚悟ができた
- ・自分の目標について考えるために過去を整理出来た。
- ・大勢の人の前でスピーチしたことによって、大きな自信がついた。
- ・応援してくださっている方や仲間がたくさんいたことを直接知れたこと。また、スピーチを通して現時点での自分と向き合えたこと。
- ・母親に気持ちをぶつけられたこと自分の思いをお客さんにきいてもらえたこと
- ・自分がなぜ現職を目指そうと思ったのかを、自分の経験を人に話して整理することで、その職業を目指す気持ちが一層高まったから。
- ・人前で話す事が苦手だった自分だったが、スピーチした事で、少し自信を持てるようになった。
- ・似たような経験を持った仲間に出会えた事
- ・自分の中に押し込めていたものを取り出して柔らかくしてしまうことができた。
- ・めったにない体験をできたこと。糧となっている。
- ・スピーチを考えていく中で 本当に「夢」は何か？ を10代の時に考えさせてくれた。向き合ってくれた大人がいて今でも感謝している。
- ・自分自身がどうなりたい明確に考えることができた。
- ・広い人間関係を得られた
- ・自分自身について深く考えることができた。幼少期からここまでの話をエンパワーの方たちと話すことで、その時の自分の想いや感じたこと、今に繋がっていることなどを再発見できた。また、自分の話を聞いてくれるだけでバイトと授業で忙しい中溜まるストレスなんかを発散することが出来ていたように思う。エンパワーの方含め事務局の方々から知識や考え方など学ぶことがたくさんあり、それらは大学の授業や自己分析などでは得られない新しいものだった。スピーチを通して成功体験を積めたことは自分への自信にもなった。大学とアルバイトとスピーチ原稿作りを並行して行っていた約半年は、とても忙しかったけれど同時に楽しかった。原稿作りは自分と向き合うことで、それをサポートしてくれる人がいるというのは本当に贅沢な環境だと思う。滅多にできない経験を学生の内に出来たことが、自分の将来にあらゆる形で生きてくると思う。

Q5: それ(よかったこと)は具体的にどのようなことでしたか？(施設職員)

- ・たくさんの人に支えて頂いたことやスピーチまでの作業には良い経験となったところもあると思うが、スピーチについては、プレッシャーが大きく大変そうであった。
- ・プレゼンへの自信がついたと思われる。
- ・見に来ていた母親に感謝の気持ちを述べる事が出来た。
- ・いろいろな人との出会いや大勢の前でスピーチをする経験など学ぶことはそれなりにあったと思います。
- ・サポートチームの人たちとの関わりがその後の支えの一つとなっていた。
- ・お世話になった小学校の先生に会えたこと。夢が明確になった事
- ・いろいろな人達がいる中で自分の思いを伝えることができたこと。
- ・前向きな姿勢と自信が付き、専門学校卒業と保育園の保育士として1年以上勤務についていて、実績につながっています。とてもよい機会になったと感じています。心よりお礼申し上げます。
- ・言葉にすることで、今までの自分の体験が少し客観的に見れるようになったと感じられたと思います。一つ乗り越えたような。スピーチの内容を考えるにつれて、自分は頑張ってきた、強くなったと嬉しく、思えるように成長できたのだと思います。
- ・自分について振り返ることができた。他者に相談したり、期限がある中で考えたり葛藤したりする経験となった。
- ・ボランティアさん達と協力し発表の作業を行ったことで、学びの多い時間が持てたこと。
- ・たくさんの人のお話する機会を得れたこと。自分を応援してくれる人たちが居ることに気付けたこと。
- ・その場の雰囲気ですらなく話をしていた子が、しっかりと人に伝えることを意識して話す経験を積ませて頂いたこと。本人としても大勢の前で話したことが自信に繋がったこと。
- ・入所のきっかけになった母について考えるきっかけになり、コンテストに母を呼び、自分の気持ちを伝えることができた。
- ・大勢の前で自己表現をすることに関して自信がついた。
- ・自分のことを言語化する機会が必要だと思う。
- ・施設職員ではない大人の人に支えられて1つの物事を完成できる経験できたこと。また、それが達成できたという成功体験として終えられたこと。